

## 韓国薬学研修報告 ～韓国の調剤薬局～

北村 有希 薬学部4年 11A052

### 概要

2014年 8月21日～24日、韓国・東國大学薬学大学での海外研修が行われた。

本学から6年1人・5年2人・4年4人が参加し、東國大学本学・薬学部・大学病院・調剤薬局・韓方市場・韓方博物館を見学した。その中から、私は調剤薬局についてまとめた。

### 調剤薬局

東國大病院では外来患者が多いため門前薬局が混在し、調剤薬局ではOTC医薬品の販売も行ってた。私たちが訪れたときは、薬剤師3人・実習学生1人（普段は2人）・従業員1人の計5人だった。韓国の実習生は週1単位でカウンター・服薬指導と調剤を交代制にし6週間実習を行うとのことでした。



図1 調剤薬局前



図2. 調剤風景



図3 薬局販売所



図4 調剤室

私は日本の調剤薬局と韓国の調剤薬局の違いを知るためにいくつかの質問を行った。

Q 1. 棚にはどのような順で薬が並んでいるのですか？

A n s. アルファベット順に並んでいます。

Q 2. 薬局に来るお客さんの割合はどれくらいですか？

A n s. 約 90%～100% が外来の処方箋を持つ患者さんです。

Q 3. 毒薬・劇薬は鍵のかかる場所に保管していますか？

A n s. ちゃんと鍵のかかる場所に保管してあります。

Q 4. 薬の在庫が切れてしまった場合近所の薬局との譲り渡しはありますか？

A n s. あります。

Q 5. お薬手帳の提示をお願いしていますか？

A n s. お薬手帳が韓国にはないので提示はお願いしていません。

Q 6. お薬手帳がないなら薬の重複についてどうしますか？

A n s. パソコンでデータ管理をしています。

Q 7. 韓国の薬剤師の立ち位置とはどのくらいですか？

A n s. 1 人の専門家としての立ち位置があります。

Q 8. 服薬指導について気をつけていることはありますか？

A n s. 患者さんの目線に合わせてわかりやすく丁寧に行っています。

上記のような質問の答えを聞き、私は日本の薬局と韓国の薬局では同じところもあるが違うところもあることを知りました。

異なる点：韓国では、お薬手帳がなく病院で処方箋をもらった患者さんが自分で調剤薬局を決め訪れるのだが、日や薬局の混み具合によって違う調剤薬局を訪れることがあるため薬の重複が多かった。だが、ここ 1、2 年の間で韓国の健康保険会社が処方箋の管理をパソコンで行い、各薬局で調剤を受ける際に、薬剤師がデータを入力し処方内容が全ての薬局に情報として伝わるというシステムを作った。これにより患者さんが他の薬局に行っても薬を処方してもらった時に薬剤師が処方内容を入力すると、重複されている薬があれば通知してくれるという機能ができた。

同じ点：韓国でも毒薬・劇薬は鍵のある場所に保管されていた。また、薬の在庫がきれた場合は近所での薬の譲り渡しがあることから近所での連帯関係も良好であることがうかがえた。服薬指導の際には、日本と同様に患者さんの目線に合わせて医療用語はなるべく使わずにわかりやすく丁寧に話すことを心がけているとのことでした。

## 感想

今回研修に参加して、韓国では薬の重複を防止するための処置がとられているが、日本はお薬手帳を持参しないと重複を防止できないという問題があるため薬の重複について考えるきっかけになりました。今回の研修に参加できいい経験になりました。